

パブリックコメントの回答について

「広聴広報戦略の策定について」のパブリックコメント募集手続きについては、令和7年2月28日から令和7年3月31日まで募集し、1名から5件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は以下のとおりです。

いただいた意見の要旨	市の考え方
<u>多治見市広聴広報戦略</u> 「市民が欲しい情報」を分かりやすく伝えるこれをメインの柱とするとよい。	広聴広報戦略の3つの方針のうち、「市民が主役の「伝わる」広聴広報」の中で「市民が欲しい情報」を分かりやすく伝えることにも取り組んでいきます。
<u>戦略Ⅱ媒体のリニューアル</u> ・ホームページのリニューアルは、市民が情報を得られやすいようにする 「検索のしやすさ」「検索先のページの見やすさ」「言葉の分かりやすさ」 ・戦略の方針に市民目線を入れて欲しい	広聴広報戦略では、ホームページのリニューアルを取り組みの1つとして挙げていますが、具体的なリニューアルの内容については、市民意識調査や令和6年度多治見市公式ホームページアンケート結果等の市民の皆さんからのご意見も踏まえながら、令和7年度に検討し、取り組んでいきます。
<u>戦略Ⅳ広聴機能の充実</u> ・意見フォームを開設する ・「2，SNSを活用した市民参加機会の創出」にパブコメを入れるか、「6，パブリックコメントの改革」として意見フォーム導入する	市長への提言は現在フォームからのご意見をいただけるようになっています。また、問い合わせについては、市の問い合わせフォームからいただいた内容を広聴担当課が各担当へ割り振る方法をとっており、なるべく市民の方のご負担を軽減するよう努めております。これらの取り組みについてより多くの方に知っていただけるよう、さらに周知に努めて参ります。パブリックコメントの意見の提出方法についても、今後の取り組みの中で、より提出しやすい方法を検討していきます。
方針1 市民が主役の「伝わる広聴広報」 ・どんな市民かをいくつも想定する ・「ネットが使えて健康な市民」以外も想定する ・特に視覚障がいの方への広聴と広報を想定してほしい	市の情報を必要とできるだけ多くの方に必要な情報が伝わるよう、ホームページのアクセシビリティの向上に努めます。インターネットを使用しない方に向けては、回覧板や広報紙といった情報提供を引き続き行っていきます。また、視覚障がいの方に対しては音声読み上げ機能の充実を図ります。
<u>方針2 紙媒体からデジタル媒体へ</u> ・紙媒体とデジタル媒体 紙媒体は必要な人はいます。「から」ではなく「と」し、その比重を変えていくことはいいと思います。	時代の流れに合わせ、デジタル媒体を上手に活用した広報に今後取り組む必要があるため、方針として掲げているものです。紙媒体を必要としている市民の方がいらっしゃることを考慮し、広報紙等の紙媒体による広報は今後も併用していきます。全ての広報をデジタル媒体に変更する意図はありません。